

# メルヘンハウス通信

## 今月の和とく情報

### 色無地を上手に決める

着物を初めてお作りになる方は、柄物の前に色無地から入られる方が多いようです。特に色無地の紋付は正式な場に着て行くには重宝しますので、まずこの着物が一枚あれば安心ということでしょう。

染め上がっている反物に、後から紋を入れる場合もあります。

## これからの和とくポイント

### 色を決める時の、一番の注意点

色無地をお願いして、気に入らない色に染まったというお話をよく聞きます。自分で決めたはずの色が、実際に着物の形に出来上がってみると、思い描いていた色と大分違っていたということです。できれば、こんな不満は残らないようにしたいものです。

何故そうなるのかと言え、まず色の見え方の問題があります。

専門店では、色見本帳から色を決めるため、色見本そのものが小さすぎるのです。

着物になったとき、色の暈(かさ)が何百倍にも増えるため、最初に小さな色見本で見た時よりも、色の印象が大きく変わって見えます。

色は大きい面積で見たときの方が、より強い見え方をします。最終的に決める色は気持ち薄目にしておく位で丁度よくなるでしょう。

出来るだけ大きな色見本を選ばれて、顔の近くの襟元にあててみて下さい。

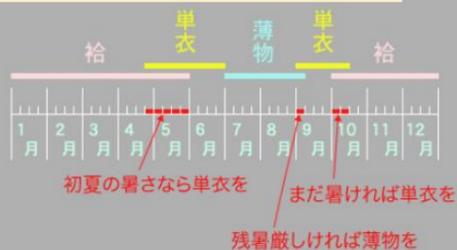
そして、直に目で見ればかりでなく、鏡に写して見ることも大切です。その色が大きくなった時を、頭に描いてイメージしてみてください。

次に、生地材質によっても色の発色が違って見えます。例えば光沢が強めの生地や、しばのある縮緬では、陰になるところが濃く見えますので少し弱めの色に。反対に、平らでさらりとした生地や袖は、コクが出にくいのでやや濃いめの色を選択する方が成功すると思います。

その他に、色を見るとき光源についても注意して下さい。蛍光灯や、タングステン光が使われている暗い店内で見ると、太陽光の下で見ると色は大きく違います。

色無地を作る時は、材質と光源に注意して、なるべく大きな色見本を参考にして決めるようにしましょう。

## 5月になったらひとえが活躍



今日もきもの気分

## やしま呉服店からのお知らせ

### 5月の催事・イベント

- ◎振袖展...5月1日～5日
- ◎529(ゴフク)展...5月29日～31日
- ◎ポーセラーツ教室...お休み

「真っ白な器を好きなように彩り、オリジナル作品を作る♪」  
シール感覚で転写紙を切り貼りして絵柄をつけるので、絵に自身のない方でも安心(^~)/  
誰もが楽しめるハンドメイドとして人気上昇中!



※各詳細のお問い合わせはお店まで  
◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

### さくらきもの学院

- ◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>
- ◎Blog: <http://sakura-rarara.sblo.jp/>
- ◎レッスンのお申込受付ます♪
- ・マンツーマンレッスン: 初等科6回
- ・1dayレッスン: 500円/回

※詳細はさくらきもの学院事務局まで

